

## 話題 79 ティータイム (7) 「こんなことが・・・」

何とも表現できない出来事であった。ティータイムには語れない話であり、事件でもあった。それでも、聞いてください。どこかで話さずにいられない。しまっておけない。あまりにも悲しい出来事でした。

寝苦しい夜が続いた。うなされた。胸が締め付けられる。この時代に、このような出来事が起こるのであろうか。

お父さんの必死な叫び声が聞こえてくる。「何処かに水はないだろうか」。「食べられる木の実はないだろうか、草でも・・・」。「寒さをしのぐ洞窟は・・・」。「東の方向は何処・・・」。「力が出ない。体力の消耗を少なくして、助けを待とう」。

「お腹がすいたよ、お父さん」。「喉が渇くよ、お父さん」。「お父さん、家へ帰りたい」。「もう、歩けないよ、お父さん」。

「行ってくるよ」と。・・・僕と二人で。自然を満喫するために、意気揚々と出かけたに違いない。楽しい思い出を創るために出かけたに違いない。お母さんも、美味しいおにぎりを作って持たせたに違いない。

山の散策に出かけた親子が、道に迷って連絡が取れないとの報道があった。狭い日本だから、きっとすぐに見つけるだろうと、意に介しなかった。ところが、数日後、親子が折り重なって遺体で見つかったとの報道があった。

親子の愛。親子の絆。かけがえのない・・・糸。教えてください。どのように受け止めたらいいのでしょうか。